

## 記入例

番号	報告日	報告者	参考データ	あて先
藤- 1	2006年7月21日	藤沢健太	U06140 (P I 土居)	大学連携観測担当者
<p><b>概要 「山口局のバンドパスの異常」</b></p> <p>山口局のバンドパス（自己相関スペクトル）に著しい周波数特性がある。感度損失につながるとともに、クロージャー位相にも悪影響があると考えられる。</p>				
<p><b>現象の詳細</b></p> <p>I F 1、2ともに低周波数側で振幅が大きく、高周波数側で振幅が小さい。振幅の比は2倍を超える。これが実効的な帯域を狭めることになり、感度の損失を招いている。またこれだけ振幅特性が悪いと、バンド内位相も直線ではなくなる可能性がある。明るい天体の場合には許容できる問題だが、微弱天体の検出観測では重大な支障となりうる。</p>				
				
<p><b>原因（推定）</b></p> <p>山口32mの最終段ビデオコンバータが必要以上の帯域幅を持っているため、折り返し雑音が高周波数側に入り込み、自己相関を高めていると考えられる。フィルタの交換で改善すると考えられる。</p>				
<p><b>対策</b></p> <p>フィルタを交換する。担当＝藤沢、対策時期＝今年度内。</p>				